

生徒指導の機能をいかす総合的な学習指導案

3年

1 単元名 「博多にわかばやってみんしゃい 博多のよかとかみつけんしゃい」(総合)

2 指導観

このような子どもだから

- 那珂川フェスタの体験をもとに、自分達はどのような博多川フェスタをしたいのか自分なりの「こだわり」をある成功のイメージをもち、教師が準備したプロジェクトマップを手がかりとした見通しをもって、計画を立て取材活動に取り組んでいる。しかし、与えられたプロジェクトマップを拠り所としているため、子ども自身が問題解決のための多様な見通しをもっているわけではない。
- 博多川フェスタの取り組みを通して、地域の人達の博多川の環境を守りみんなに親しまれる川にしたいといった思いや、博多川を次の世代に残したいという願いに触れ、博多の町を想う人達の存在に敬意を表するようになってきている。しかし、一緒に問題解決に取り組んでいる友達への意識へと広がっていない。

はかたの心を育てるために

- 博多の伝統文化継承に携わる人達と繰り返し関わることで、博多の町の人と一緒に楽しみ博多の町のよさに気付かせる。

学習構想力と人間関係調整力を育むために

- 問題解決の筋道(イエス、ノー)を自分達で作成させ、これからすることをイメージしたり追究を修正させたりする。
- 博多にわか振興会の人達や地域の方との交流を通して、自分の取り組みのよさが認められていることに気付かせる。

生徒指導の視点に立った単元の工夫

- 博多にわかのおもしろさの秘密について追求し自分オリジナル博多にわかを作成するとともに、博多にわか大会を企画し地域の方へ発信する【自己存在感をもたせる】
- 博多のテーマ毎にグループをつくり、互いの追求のよさを認めいかながら追求を進める【共感的人間関係を育成する】
- 自分達の追求の計画を自ら作成するプロジェクトマップ(学習計画)づくりを位置づける【自己決定の場を設定する】

このような教材を

博多にわか起源には色々な説があり、黒田の初代藩主長政が藩州一宮伊和大明神の祭礼である悪口祭を取り入れた・盆踊りが転化した・落首がその始まり等と言われている。いずれにせよ、博多町人が、社会風刺や、政治批判をユーモアに包んで、笑いの中に溶け込ませ発展させたものに違いないと言われている。どれも博多弁で滑稽な会話を交わし、最後はおちで締めくくる。演じるときは目かざらをつけるのがしきたりとなっている。このような博多にわか、博多町人の文化の表れであり、博多にわかを追究することは、以下のよさがあると考えられる。

- 博多にわか、自分達で実際ににわかをつくりたり演じたりする直接体験が容易であり、学習したことを生かして人とかかわりを深めていくことができる。
- 博多にわかのもつ本質(演じる人と鑑賞する人の双方向性の関係で成り立つ)やにわか要素(おもしろさのひみつ=会話、博多弁、風刺、演技、おち)に「こだわり」をもたせることで、伝統文化の奥深さを実感することができる。
- 博多の伝統文化継承に携わる人達に直接関わることで、博多の町を愛し自分も博多の町の伝統を担う一人であることを実感することができる。

そこで、本単元では、GTの中心として平野隆之(ひのたかく)さんを挙げる。平野さんは、次のような価値をもった人物である。博多にわか振興会委員。学生の頃博多にわかに出会い、その楽しさおもしろさ奥深さを感じ、博多にわかを始める。「博多の町は、町人文化の町。その伝統を大切にしたい」という願いから、博多にわか振興会の活動を行っている。「駄洒落にはわかではない。おちと演じ方が命であり、筋立てがきちんとできているからこそ、おちがいきる」といった「こだわり」をもつ人である。

このような学習で

本単元では、博多の伝統文化の一つである博多にわか取材や自分達のにわかづくりを通して、受け継がれる伝統文化のよさを実感し、このような伝統を大切にしている博多の町に誇りをもつことができることをねらいとしている。そこで、学習問題①「博多にわかのおもしろさのひみつについて調べよう」→学習問題②「博多にわかのおもしろさの秘密を、博多の人に伝えよう」の「探求→発表・発信型」の単元づくりを行い、次のような支援のもと学習を進める。

- ㊦ 博多にわかへの興味・関心を高めるために、実際の博多にわかを鑑賞したり、自ら演じたりする場を設定する。
 - ・追究の「こだわり」を膨らませたり、解決の過程を整理したりするために、体験と交流のサイクルを視覚的(書き込みをした付箋を動かし、その内容や順序から追究の筋道を理解する)に表したプロジェクトマップを使って、自分達の問題意識を交流したり、追究の見通しをもたせたりする拡散・収束の交流の場を設定する。
 - ・博多にわかの本質に迫り、子ども達の「こだわり」に応じた追究ができるようにするために、博多にわか振興会の人へのインタビューや街角調査の場を設定する。
- ㊧ 博多にわかのもつ本質に迫るための道筋かどうかを考えるために、追究が同じ対象・異なる対象のメンバーによる、プロジェクトマップを活用した相互評価を行う。
- ㊨ 互いの「こだわり」を共感的に理解し合うために、掲示した話し合いのモデルをもとに、それぞれの考えの同じ部分と違う部分を整理しながら話し合うようにする。

5 本時目標

- ㊸ 博多にわかに対する地域の方の願いを受け、自分の博多にわかをよりよいものにしたいという願いをもつことができる。
- ㊹ 自分のにわかをよりよくするためには、何を、どのように付加・修正したらいいのか、おもしろさのポイントをもとに見直すことができる。
- ㊺ 博多にわかのおもしろさのポイントを根拠に、友達と自分との意見を比べて話し合い、よい考えは積極的に取り入れることができる。

6 規範意識を高めるための本時授業の工夫

○ 規範意識を高める本時の価値

これまでの追求を通して、子ども達は自分の博多にわかをつくっており、思い入れも大きい。しかしそれは、自分なりに満足しているものである。自分のにわかをよりよくするためには、何を、どのように付加・修正したらいいのか、友達と自分との意見を比べて話し合い、よい考えは積極的に取り入れる姿が期待できる。

○ 自己存在感をもたせるための工夫

自分の博多にわかがおもしろさのポイントを落とさずに作っているかどうか検討するために、自分がつくった博多にわかを発表したりG Tのアドバイスを直接受けたりする小グループの話し合いの場を設定する。

○ 評価の工夫

自分がつくった博多にわかをどのような話し合いを経て付加・修正できたのかを振り返るためにアクションシートに書き込みをさせる。

7 本時学習の考え方

これまでに子ども達は、博多の人達の博多にわかに対する認知度はどのようなものか、自分達の追究活動を根拠に結果を予想した話し合いを行い、結果と照らし合わせた交流から、学習問題②である「博多にわかのおもしろさのひみつを博多の人に伝えよう」を設定している。そして、つくった学習問題を受けて、学級のプロジェクトマップを作成し、自分のテーマのにわかを作っている。しかしそれは、テーマを意識しているものの、にわかを要素を自分のテーマにあてはめているものではない。

そこで、本時授業では、博多の人の思いが入ったよりよいはかたにわかをつくるという目的に沿って話し合う中で、“博多にわかのおもしろさのポイント”をもとに、付加・修正し、自分がつくった博多にわかを見直すことをねらいとしている。

導入段階では、本時学習の見通しをもち、めあてをつかむことをねらう。そのために、前時学習で明らかになっている本時のめあてである「博多にわかのおもしろさを博多の人に伝えるために、自分のにわかを見直そう」を確認し、自分がかんばることを発表させることで意欲付けを行う。

展開段階では、自分がつくった博多にわかを見直し、博多の人達の思いを大切にしたい博多にわかをつくることをねらいとしている。そのために、自分がつくった博多にわかはおもしろさのポイントを取り入れたものになっているかどうか、自分自身で検討する。次に、学級全体で、モデルの博多にわかを詠み、不足している部分を理解させる。ここでは、おもしろさのポイントが不足している博多にわかと、全て入っている博多にわかを比較することで、おもしろさのポイントの何が不足しているのか、どうしたらよくなるのかを検討させていく。

さらに、自分の博多にわかはおもしろさのポイントを落とさずに作っているのか、全体交流を参考に付加・修正する。ここでは、友達からの意見やG Tのアドバイスをもとにしながら、見直しをすることで、よい考えは積極的に取り入れていく共感的理解を大切にしたい。

終末段階では、次時の活動の見通しをもつことをねらう。そのために、現段階でできている博多にわかを発表させ、どのような道筋でこのようなわかできたのか、おもしろさのポイントと合わせて発表させる。そして、できた自分の博多にわかをもとに、これからどのような活動に取り組んでいきたいか発表させることで、次時からの追究の見通しを明らかにしていきたい。

8 準 備 教師：博多にわかモデル（ポイントが不足しているものと十分なもの） 児童：博多にわかアクションシート

9 本時の展開

学習活動と内容	生徒指導の視点に立った支援
<p>1 前時学習を想起し、めあてについて話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 学習する内容を確認すること。 ※ 自分なりの、今日の学習のめあてを発表させる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>博多にわかのおもしろさを博多の人に伝えるために、自分のにわかを見直そう</p> </div> <p>2 二つのにわかをもとに話し合い、自分のにわかを検討する。</p> <p>(1) 二つのにわかを比べ、違いを明らかにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 博多にわかおもしろさのポイントを理解・実感すること。 ※ おもしろさのポイントが不足しているにわかと、全て入っているにわかを比べる。 <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;"> <p>岡市「そのらあ、変な服やけん、福</p> <p>「の、人ね？」</p> <p>「どこの人か知らん。そりやど</p> <p>「が、この人か知らん。そりやど</p> <p>「変な服ば着て、おどりの人</p> <p>「全、あんたさあ、どんたくで、</p> <p>「全、あんたさあ、どんたくで、</p> </div> <div style="font-size: 2em; margin: 0 10px;">➡</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;"> <p>市「それは、変な服だから福岡</p> <p>「知らないよ」</p> <p>「たよ、知ってる」</p> <p>「を、着て、おどっている人がい</p> <p>「か、福岡市のお祭り、変な服</p> <p>「ポイントが不足しているにわ</p> </div> </div> <p>(2) 自分のにわかを改善する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ おもしろさのポイントを組み込んだにわかをつくること。 ※ 小グループで検討する話し合いをする。 <p>3 「今日の学習で」を発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 次時の活動の見通しをもつこと。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>博多にわかをつくらうとしたら、思ったより難しかったです。今日の学習で、博多にわかのおもしろさのポイントが無いと本当の博多にわかのおもしろさは伝わらないことがよく分かりました。今日、自分のにわかを見直してよりよいものになったので、はやく「博多にわか大会」でみんなに見せたいです。</p> </div>	<p>生徒指導の視点に立った支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 本時学習への明確な目的意識をもたせるために、本時の学習内容と音声言語目標を関連させた、自分が今日、がんばるめあてを発表させる【自己決定】。 ○ 博多にわかのおもしろさのポイントを取り込んだ博多にわかをつくることのできるようにするために、おもしろさのポイントが不足している博多にわかとすべてはいっている博多にわかを比べ、なくてはならないおもしろさのポイントを理解・実感したり、意味づけをしたりする。 ○ 自分の博多にわかがおもしろさのポイントを落とさずに作っているかどうか検討するために、友達の見解やGTの見解を聞く、小グループの話し合いの場を設定する【自己存在感】【共感的人間関係】。

10 成果と課題

- 本単元「博多にわかばやってみんしゃい」では、博多にわかのおもしろさのひみつを博多の人に伝えたいという願いのもと、自分オリジナル博多にわかを作成し、博多にわか大会を行った。明確な目的意識をもったことで自分なりのこだわりをもった博多にわかを発表するとともに、GTや地域の人達からも繰り返し認められる体験をすることができた。また、博多にわかの本質として、伝統文化の継承であることや人を悪くいわないこと、真の笑いとは知的ユーモアであること等を体験的に学ぶことができた。
- 多くの人前で発表するのが苦手な子どももいるので、他の表現方法も考える必要がある。

このような子どもに

- ㊦ 博多にわかに興味を持ち、プロジェクトマップを用いて活動を修正しながら博多にわかによさを追究することができるとともに、平野さんの思いをもとに、学んだことを生かし博多にわかによさを発信することができる。
- ㊧ 追究活動をくり返す中で、友だちやGTの考えの良さを付加しながら、博多にわかによさや博多にわか振興会の方の思いに気づき、学んだことを生かしながら、相手意識を持って博多にわかに表現し、発信していくことができる。
- ㊨ 博多にわかを継承している博多の人とのかかわりを通して、博多にわかによさに気づき、博多の町の人といっしょに博多にわかを楽しむことができる。

3 学習指導計画<33時間>

段階	活動のねらい	学習活動	主な支援	配時
つ か む	<ul style="list-style-type: none"> ○ 博多の町の伝統文化である博多にわかについて知り、博多にわかに関心をもつことができる。 ○ 博多にわかを見たり演じたりしたことを交流することにより、学習問題①をつくることができる。 	<p>1 博多にわかについて知り、様々な体験活動を行う中で感じたことをもとに、自分たちがしてみたいことについて学習計画を立てる。</p> <p>(1) 3学期、はかた学習の心構えを作る。 人 花と緑の会の方との活動(1学期) もの 博多川の追究(2学期) こと 博多にわか(3学期)</p> <p>(2) 博多にわか振興会の方に来ていただき、博多にわかを見る。 ・一口にわか ・かけあいにわか ・博多にわか歴史</p> <p>(3) 博多にわかを体験する。 ・お面や法被を着ること ・簡単な博多にわかを覚えてもらいながら友だちの前で演じること</p> <p>(4) 感じたことや疑問に思ったことをまとめる。</p> <p>(5) 感想を出し合い、分かったことと分からなかったことを整理する中で、学習問題①を作る。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>学習問題① 博多にわかのおもしろさのひみつについて調べよう。</p> </div> <p>博多にわかを見たりしたりしてみると、とてもおもしろかったです。お面をかぶってみるだけで、みんなが喜んでくれたのがうれしかったです。でも、笑ってもらえなかったこともあったし、どうやって博多にわかを作ったらいいのかよく分かりませんでした。博多にわかには何かみんなが楽しむためのひみつがあるのかなと思います。ぜひ調べてみたいです。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ㊦ 博多にわか振興会の方の博多にわかを見ることで、博多にわかへの関心を高めると共に、伝統文化である博多にわかを継承している人がいることを知る場を設定する。 ㊧ 博多にわかにより関心を高めることができるように、博多にわかのお面をかぶったり実際に演じたりすることができる場を設定する。 ㊨ 博多にわかに対する疑問を出し合う中で、博多にわかに対して追究意欲を高める場を設定する。 	7 ① ② ② ① ①
さ ぐ る	<ul style="list-style-type: none"> ○ 問題を解決するために取材する方法や内容について見通しを持ち、調査・追究したことをまとめ自分の考えを作りあげることができる。 ○ 博多にわかのおもしろさのひみつについて、自分が調べたことを実践報告し、 	<p>2 調べる問題ごとに活動計画を作成し、追究活動をする。</p> <p>(1) 自分の調べたい問題を決める。 ・作り方のコツ(間合い, オチ) ・言い方のコツ(博多弁の使い方) ・見た目のコツ (法被・お面・しゃもじなどの由来) ・思いについて(風刺, ユーモア)</p> <p>(2) 追究計画を立てる。 ・プロジェクトマップを作ること</p> <p>(3) 計画に沿って追究活動をする。 ・間合いの取り方やオチについて博多にわか振興会の方へインタビュー。 ・博多にわかでよく使う博多弁調べ。 ・法被やお面、しゃもじの種類や使い方調べ。 ・風刺やユーモアの意味、由来。</p> <p>(5) 調べたことを表現物にまとめる。</p> <p>(6) 同質の小グループで調べたことを交流し、自分の考えを見直す。</p> <p>(7) より自分の考えを深めるために、再調査をする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ㊦ 追究する問題の内容について視点を与えながら追究内容を明確にして話し合いをすることができるようにする。 ㊧ 博多にわか振興会の方や博多小にわかクラブとの出会いを通して、博多にわかに関心している人の思いに気付くようくり返し対象にかかわり活動が持続できる環境を整えておく。 ㊨ 個人で追究した考えを強化したものにするために、同質グループ間で中間交流会をする。 ㊩ 次の活動への見通 	13 ① ① ② ② ② ① ②

さ ぐ	<p>友だちと交流することで問題を解決することができる。</p>	<p>(8) 再調査したことをもとに、自分の考えを強化する。 (9) 再調査したことをもとに学級全体で交流活動をし、共通理解を図る。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>(10) 博多にわかアンケートをもとに話し合い、学習問題②を作る。 ・博多にわか認知度について考えること。</p> <p>学習問題② 博多にわかのおもしろさのひみつを博多の人に伝えよう。</p> </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>ぼくは博多にわか「博多弁」について調べました。博多にわかには独特な言い方があるので、博多弁を使うと博多の人が笑いながら一つになることがわかりました。同じように「おめん」や「オチ」などのポイントも、みんなが楽しみながら同じ思いになることがわかりました。けれども平野さんが言った「博多にわか」を守る人が少なくなってきたと言う話には、びっくりしました。こんなにすばらしい博多ならではの博多にわかをぜひ広げたいと思いました。博多にわかを使って、ぼくにできそうなことをぜひしてみたいと思います。</p> </div>	<p>しを持つために、話し合いの視点を作って、相互評価の場を設定する。</p> <p>① ②</p> <p>① 1組 本時</p> <p>② 追究対象への「こだわり」をふくらませるために、個人で追究した考えを分類・整理する中でお互いに共通点があることに気づき、自分たちで新たな目標を立てられるよう全体で交流活動をする。</p>
ま と め る	<p>○ 実践をふり振り返り、さらに自分が取り組めそうなプランについて、見通しをもち、友だちと協力して実行することができる。</p> <p>○ 追究したことを交流する中で、自己をふりかえり、今後の実生活に生かそうとすることができる。</p>	<p>3 自分たちにできることを実践する。</p> <p>(1) 自分たちにできることを考える。 ・「博多にわか大会」の開催 ・発信先の決定 ・プランの決定</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>(2) 追究計画を立てるためにプロジェクトマップを作る。 ・博多弁を使った博多の町紹介にわか(博多弁の大切さを伝えるために、博多弁のない博多にわかとの比較) ・おめんの歴史紹介にわか(昔から今までのおめんを使って博多にわかをするなかで伝統文化を守ることの大切さを伝えるプラン) ・花と緑の会紹介にわか(ネタやオチに花と緑の会の方や大博通りで活動した事を紹介するプラン) ・博多川紹介にわか(ネタやオチに川端商店街の方や、博多川で活動した事を紹介するプラン) ・博多にわかパンフレット作り等の表現物プラン</p> </div> <p>(3) 計画に沿って追究活動をする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>(4) 同質の小グループで交流し、自分のプランを見直す。 ・必要に応じて、より自分の考えを強化するための再調査すること。</p> </div> <p>(5) 「博多にわか大会」をひらくための準備をする。 (6) 「博多にわか大会」をする。 (7) 「博多にわか大会」をもとに、自分が学んだことをまとめる。 (8) 「博多にわか大会」報告会をする。 (9) お互いの取組の成果を話しあい、自己のこれからを見つめ直す。 ・アクションシートを見直す中で自己の変容に気づくこと。 ・プロジェクトマップを見直しながら、自己の成長を実感すること。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>ぼくは「博多川紹介にわか」グループで「博多にわか大会」をしました。お客様がぼくたちの博多にわかをうなずいたり、笑ったりしながら聞いてくれたのでとてもうれしかったです。そして、博多にわか大会を通して、お客様とぼくたちが同じ思いになることができました。博多にわかにはあらためてすごいなと思いました。今度はちがうところで「博多にわか大会」をして、博多にわかを広めていきたいです。</p> </div>	<p>① 1組 本時</p> <p>① 2組 本時</p> <p>② ① 3組 本時</p> <p>③ ② ① ① ①</p> <p>① ①</p> <p>② プランが妥当かどうかを確かめるために、お互いに相互評価をする</p> <p>② 追究対象への「こだわり」をよりふくらませることができるよう、さぐる段階でくり返しかわったGTとさらにかかわりを深めることができるような環境を整える。</p> <p>② 学習を通して、博多の町のよさに対する自分の見方や考え方がより深まっていることを実感するため、全体交流をする。</p>